

平成28年度 第1回
鹿屋市総合教育会議 資料

鹿屋女子高等学校活性化基本方針（案）
について

平成28年11月11日
鹿屋市教育委員会

鹿屋女子高等学校活性化基本方針（案）について

1 鹿屋女子高等学校活性化基本方針（案）の概要

(1) 基本理念

「しなやかで豊かな感性を持ち、社会に貢献できる人材の育成」

(2) 5つの基本目標と活性化に向けた取組

基本目標1 多様な進路の実現 ～様々な可能性に挑戦できる仕組みづくり～

- ① 各学科における学習の深化
- ② 可能性を広げる総合選択制
- ③ 様々なライフスタイルを見据えたキャリア教育の実施

基本目標2 特色ある活動の実践 ～時代のニーズに対応する実践力の育成～

- ① 時代に対応したICT教育の推進
- ② 実用的、実践的な英会話教育の推進
- ③ 日本文化と地域の理解を基にしたグローバル教育の推進

基本目標3 地域連携と貢献 ～地域を愛し、地域に貢献する人材の育成～

- ① 地域との連携や交流
- ② ボランティア等による地域貢献
- ③ 地域に開かれた民間機能を持つ施設整備

基本目標4 キャンパスライフの充実 ～個性を発揮できる環境の整備～

- ① 機能的で魅力ある新校舎の建設
- ② 部活動の充実と強化に向けた支援
- ③ 通学環境の改善や県内外からの受入れ支援

基本目標5 親しまれる学校づくり ～効果的なプロモーションと支援体制の強化～

- ① 様々な方法を用いた広報活動の強化、充実
- ② 地域が支援する体制づくり
- ③ 小中学校との連携強化

(3) 新たなカリキュラム構成

① 3学科を基本とする魅力ある学習

「普通系」・「家庭系」・「商業系」の3学科において、アクティブラーニングや実習等とおしてより充実した魅力ある学習を行います。(学科の名称変更についても今後検討する。)

② 総合選択制による多様な進路への対応

「看護・医療」や「保育」といった卒業後の進路希望が多い分野についての基礎的学習や他学科での資格取得が可能になり、多様な進路希望を実現できます。

③ 地域人材の活用

地域で活躍する人材を講師に迎え、より実践的で専門的な学習を行います。

2 新校舎建設（案）について

(記載例は想定される一例であり、今後様々な検証や検討の上、実現に向けて取り組んでいきます。)

(1) 概要

延床面積 約6,000㎡ 鉄筋コンクリート造5階建て 概算事業費 約22億円

※PFI手法等の公民連携手法を活用し、民間の柔軟な提案やノウハウを導入する。

<民間収益施設>

(例)・スポーツジム ・飲食店や販売店 ・カフェテリア ・学習塾 ・子育て交流施設 等

(2) 主な機能

① 機能性 ～生徒の自主的な活動を実現する施設整備～

(例)・少人数学習室 ・キッチンスタジオ ・寮 ・食堂 等

② 先進性 ～情報化や国際化に対応できる施設設備～

(例)・ICT教育環境 ・和室、茶室、書道室 ・木材の利用 等

③ 開放性 ～公民連携による市民との交流を促進する施設設備～

(例)・講堂やギャラリー ・にぎわいづくりや防災の拠点 等

④ 安全性 ～安全でゆとりや潤いのある施設設備～

(例)・ゾーニング ・校内ランニングコース ・省エネ設計 等

3 これまでの取組及び今後の予定

(今後の予定は平成28年11月現在想定されるものであり、変更になる場合があります。)

年度	月日	会議・内容等	
H28	4月11日	第1回鹿屋女子高等学校活性化検討委員会 (鹿屋女子高等学校活性化検討委員会設置)	教育委員会
	5～6月	活性化策に関するアンケート調査及び聴き取り調査実施	教育委員会
	6月10日	第2回鹿屋女子高等学校活性化検討委員会	教育委員会
	7月20日	第3回鹿屋女子高等学校活性化検討委員会	教育委員会
	9月5日	第4回鹿屋女子高等学校活性化検討委員会	教育委員会
	10月4日	教育委員への基本方針(案)の説明	教育委員会
	11月10日	教育委員による基本方針(案)の協議	教育委員会
	11月11日	総合教育会議(市長と教育委員会との協議)	市長、教育委員会
	11月25日	全員協議会(基本方針(案)の説明)	教育委員会
	12月上旬	教育委員会定例会(基本方針の議決)	教育委員会
		新校舎整備事業に係る実施方針(案)の公表 (公民連携手法を活用して事業を実施する方針であることを示し、参加希望企業の意向を募るもの)	市長(市ホームページ)
	12月中旬	第5回鹿屋女子高等学校活性化検討委員会	教育委員会
	1月	実施方針(案)説明会の実施 参加企業等からの質問、意見提案受付	教育委員会 教育委員会
	3月	特定事業選定の公表 (民間事業者の応募の意向が確認できた際に、公民連携手法で実施することを正式に公表)	市長(市ホームページ)
債務負担行為の議決(H29年3月議会) (建設費及び長期事業の概算上限額の設定)		市長(議会)	
H29	4月	募集要項等の公表	市長(市ホームページ)
	4～5月	民間事業者の募集	教育委員会
	7～12月	意見提案書受付	教育委員会
	1～2月	審査委員会(3回程度)	教育委員会
	3月	優先交渉権者(落札者)の選定・公表	市長(市ホームページ)
H30	6月	本契約の締結議案(H30年6月議会)	市長(議会)
	9月	基本設計の決定	教育委員会
	11月	実施設計の決定	教育委員会
	2月	工事着手	
H31		↓	
H32	4月	供用開始	

〔参考〕 鹿屋女子高等学校活性化検討委員会について

<委員等一覧>

区分	氏名	所属・役職	備考	
委員	学識経験者	武隈 晃	鹿児島大学教育学部・教授 鹿児島大学・副学長	委員長
		前田 博子	鹿屋体育大学・教授	副委員長
		小松 信明	鹿児島県専修学校協会 ・鹿児島県進路支援センター長	
		中村 直也	鹿児島医療技術専門学校・校長	
	地域代表	加藤 俊作	鹿屋青年会議所・理事長 ニューワールドホテル・代表取締役	
		入佐 香織	有限会社 環境システム・代表取締役	
		岩松 菜津美	リトミック教室とらいあぐる・代表	
		竹井 知子	photo design KALMIA・代表 前 鹿屋商工会議所・青年部会長	
	関係学校	久保 健太朗	鹿屋市PTA連絡協議会・会長	
		森山 まゆみ	鹿屋女子高等学校 学校評議員	
		河原 多美子	鹿屋女子高等学校同窓会・会長	
	オブザーバー	楠元 務	鹿屋女子高等学校・校長	
大保 智		鹿児島県教育委員会 高校教育課 主任指導主事兼産業教育係長		
アドバイザー	森川 敏美	鹿児島県教育委員会 高校教育課 主任指導主事兼教育振興係長		
	柳生 成彦	シーズプロデュース株式会社・代表取締役		

<委員会の開催状況>

回（開催日）	主な内容
第1回（4月13日）	小中学生への魅力発信、女子高ならではの活動の提案
第2回（6月10日）	可能性が広がる学校づくり、国際感覚の養成に関する提案
第3回（7月20日）	総合選択制導入の検討
第4回（9月5日）	新学習指導要領を想定した理念、先を見据えた施設整備についての提案
第5回（未定）	活性化基本方針の確認と次年度以降の活性化策の提案等

<アンケート・聴き取り調査等について>

調査形式	対象	回答人数	内容
アンケート (計1,583人)	市内中学3年生女子	468人	<ul style="list-style-type: none"> ・受験校を決める際、重視すること ・高校で学びたいこと など
	市内中学3年生女子の保護者	397人	
	鹿屋女子高校在校生	477人	
	鹿屋女子高校在校生の保護者	241人	
聴き取り (計10団体)	<ul style="list-style-type: none"> ・北田大手町商店街・まちづくりかのや ・商工会議所 ・社会福祉協議会 ・看護協会 ・PTA連絡協議会 ・地元企業 ・同窓会 ・市職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・理想の鹿屋女子高校とは ・鹿屋女子高校に期待すること など 	